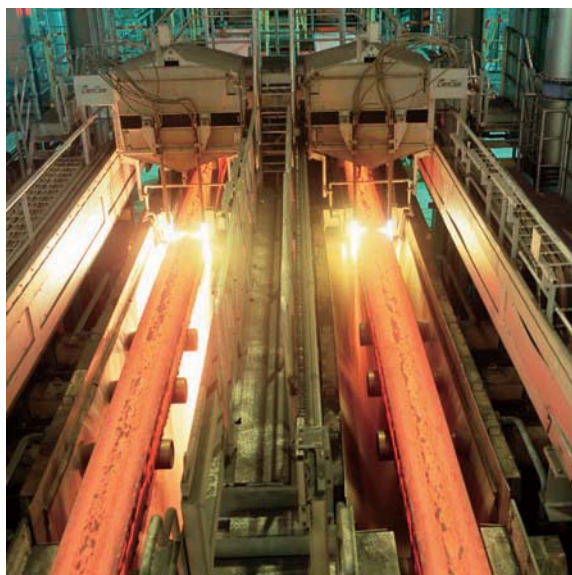


IRON AND STEEL

鉄鋼関連事業



鋼材製品のさらなる高度化・高付加価値化に向けて「ものづくり力」の強化に取り組むとともに、弁ばね用線材や自動車用高張力鋼板(ハイテン)等の「オンリーワン製品」の拡販を図っています。溶接材料では、独自の技術力に基づく「溶接ソリューション」の展開により、「世界のリーディングカンパニー」を目指しています。

2008年度の事業環境および業績

鋼材については、年度前半までは自動車・造船などの製造業向けを中心に堅調に推移し、世界的に需要が

拡大したため、輸出も増加しましたが、年度後半に造船を除く製造業向けの需要が急激に減少した結果、2008年度の鋼材販売数量は前年度を下回りました。しかしながら、原材料価格の大幅な値上がりに対応し、製品価格への反映を進めたことから、売上高は2007年度を上回りました。鑄鍛鋼製品については、造船向けを中心に旺盛な需要が継続し、売上高・利益とも2007年度を上回りました。チタン製品については年度前半までの堅調な需要に支えられ、売上高・利益とも2007年度並みを確保しました。

溶接材料については、年度前半までは需要が堅調に推移しましたが、年度後半に入り自動車・建設機械向けを中心に急速に落ち込んだため、大幅な生産調整を行いました。また、原材料価格の高騰に伴い価格改定を実施しました。

以上の結果、鉄鋼関連事業の売上高は前年度比10.7%増の1兆224億円となりましたが、営業利益は前年度比141億円減益の777億円となりました。

「2006-2008年度中期経営計画」の総括

「オンリーワン製品」の拡充や「ものづくり力」の向上につながるものなど、競争力強化を図る案件を中心に積極的な設備投資を実施しました。加古川・神戸両製鉄所の高炉改修や神戸製鉄所の第5号連続鑄造設備の建設、チタンの新溶解工場の建設、船舶用クランク軸を対象とした鑄鍛鋼の生産能力増強を行うとともに、省エネルギー・環境投資も重点的に実施しました。

◎当社粗鋼生産量

2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
771	756	783	807	723

(単位: 万トン)

◎鋼材販売数量

2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
667	650	658	686	617

(単位: 万トン)

◎販売単価(国内・輸出平均)

2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
57,300	73,300	74,500	77,600	99,500

(単位: 円/トン)



自動車用ハイテンを使用したシート



溶接材料

溶接材料では、国内外の販売量の大幅な増加に対応するため、既存拠点での増産策を実施し、また、中国に新拠点を設立しました。

今後の見通しおよび施策

鋼材では、需要の回復は緩やかなものにとどまり、2009年度の出荷数量・売上高は2008年度を下回る見込みです。原材料価格の下落や需給悪化を背景に販売価格が低下する見込みですが、数量確保や販売価格下落の抑制を行うとともに、徹底したコストダウンと生産効率の向上に取り組み、収益の改善に努めます。

鋳鍛鋼製品の2009年度売上高と収益は2008年度並みを確保する見込みです。新プレスラインを着実に立ち上げ、効率的な生産体制を構築していきます。

チタン製品では、需要環境の急速な悪化や、それに伴う需要家での在庫調整が見込まれ、出荷数量・売上高は2008年度を下回る見込みです。

溶接材料は、今後も厳しい事業環境が続くと想定されますが、あらゆる部門で、販売量の確保、価格下落の抑制、聖域のないコストダウン等、最大限の努力をして収益改善を図ります。



冷間圧造部品

TOPICS

超ハイテンのロールフォーム技術に関する包括技術契約を締結

2008年9月、オーストリアのフェストアルピーネ・クレムス社と自動車部品用途の超ハイテンのロールフォーム技術に関する包括技術契約を締結しました。この技術契約に基づき、日系自動車メーカーに対して超ハイテンのロールフォーム技術の優位性を示す構造提案を行い2011年以降のモデルに向けた採用を働きかけるとともに、普及・浸透活動を継続的に展開していきます。また同時に、日本のロールフォーム加工を行うプレスメーカーへの技術支援を行っていきます。両社の技術提携により、自動車の車体軽量化に大きく貢献いたします。

インドESSAR(エサル)社と包括提携契約を締結

2008年11月、インドの鉄鋼メーカーであるEssar Steel Limited(以下、ESSAR社)と協業関係を構築するための包括提携契約を締結しました。今後成長が期待されるインド市場において、当社は、原料・鉄源の調達ソース拡大を図るとともに、インド市場における高級鋼分野での事業機会を探っていきます。現時点で検討を予定している協業項目は、①当社からESSAR社への技術支援、②ESSAR社から当社への原料・鉄源の補完、③インド市場における両社での共同事業、です。



エサル社との包括提携契約調印式